

# 株式会社 関西宇部グループ社長メッセージ

先日の磐越道の高校生死亡事故、大変悲しいニュースでした。ニュースを見ると、バス会社が所有するバスではなくレンタカー、運転手については社員ではなく、知り合いからの紹介で無職の高齢の運転手を頼み、窓口のバス会社は利益ゼロであったようです。推測するにコストを抑えることが最優先で常態化していたのではないのでしょうか。私の新任社長安全研修時に配布された本にも、目先のコストダウン・利益追求をし過ぎると、相反する安全面は疎かになる、と書かれています。皆様も、通常と異なる運営・行動を取るとリスクは跳ね上がり、結果は重大な・悲惨な事故になり得ます。「安全と健康は全てに優先する」点を改めて強く認識ください。

今後も、アメリカ／トランプ氏の騒動のように何が起こるか分からない。日本のセメント・生コン需要も大きく落ち込みが続いており、先日は太平洋セメントによるトクヤマ社のセメント事業買収記事もあった。日本全国、関西でも需要減は続いており、その対策の一つとして広域協組も構造改善事業を開始した。我々関西宇部も、ある程度の影響は予想され、対応を行い乗り越えていく。私が好んで読んでいた本「みをつくし料理帖」の中で、「雲外蒼天（うんがいそうてん）」という言葉が出てくる。苦しい試練を乗り越えれば、やがては青空が広がる。人生や仕事、良い時もあれば厳しい時もある。この意思を持っていきましょう

2026.5.13

代表取締役 太田正彦